

ベストセラーになった
「スカウティング・フォア・ボーイズ」

小暮幹雄



ROBERT BADEN - POWELL

一九〇八年一月二五日、イギリスの書店の店頭に「スカウティング・フォア・ボーイズ」(以下SFBと略す)の第一分冊が並べられるやいなや、たちまち少年たちが四ペンスを持って七二ページの小冊子を買っていった。小冊子の表紙は、海岸の岩陰に少年が寝そべって沖を通る国籍不明の船を観察している絵であった。半ズボン姿の少年の横には、つば広の帽子と杖が置いてあった。小冊子を買った少年たちは、ジョン・ハッサーが描いたカバールの絵に冒険心を抱き、自分を重ね合わせ、小冊子に書かれていることを身につければ、自分もカバールに描かれているような少年になれる気になった。また、表紙の右上端にはB・Pの文字が印刷されており、その下には、「バーデン・パウエル陸軍中将・バス勲章」と記してあった。マフェキングの英雄が書いた小冊子は、隔週水曜日に発売され、三月末までに第六分冊が発行された。同年五月一日には、六分冊を合本し、布表紙の単行本の形でホールズ・コックス社から二シリングで出版された。そして、SF



Bは瞬く間にベストセラーになり、ボーイスカウトはイギリス中に満潮の勢いで広まっていった。SFBを買った少年たちは、自分たちの仲間を集めて本に書いてあることを実践し、夢中になってスカウティングを楽しんだ。B-Pの永年にわたる軍人としての経験と、一九〇七年七月二十九日八月九日、イギリス南部のブラウンシー島での二〇名の少年との実験キャンプの経験をもとに書き上げた本であればこそ、少年たちが魅力を感じないはずはなかったのである。少年たちが小グループであるパトロールを作り、ボーイスカウトとして活動を開始すると、どうしても大人の援助と正しい指導が必要となってきた。しかし、初期の指導者にとって指導の参考となる書物は、SFBが唯一であった。SFBの第六分冊には、B-Pがその執筆に一番苦労したと思われる形跡がある。第六分冊はそれまでに発行された第五分冊までとは内容がまるで違い、「少年を訓練しているすべての若い人たちへ」と題して、はっきりと指導者に向けて書かれたものであった。この

第六分冊には三種類の草案があった。最終的に、「指導者への注意」と題されたが、後年『原理と方法』に標題が変更された。後年B-Pの手によって改作されたどの版でも、根本的な変更はないが、この部分だけは、改版のたびごとに慎重に改作している。(現在のSFB「日本連盟創立七〇周年記念版(以下記念版)」には、『原理と方法』は掲載されていない)『原理と方法』以外の部分は、『営火夜話』という形でスカウト向けにB-Pの体験やあらゆる知識が寄せ集められ、読みやすい言葉で書かれている。しかし、各「営火夜話」の終わりの部分にある、「実施上の示唆」と「参考図書のリスト」は、指導者向けに書かれたものである。(記念版には掲載されていない)

『スカウティング・フォア・ボーイズ』の読み方

現在のSFB(記念版)は、一九六三年にイギリスで発行された決定版の翻訳である。一九六二年以前の版には、「本書の用い方」と題して二ページにわたたり、指導者向けの記述があり、次のように書かれている。この『スカウティング・フォア・ボーイズ』は、この運動全体の基盤的書物であることを記憶されたい。一回読んだだけでは充分だとはいえない。一二期、または、それ以上読んでも、その暗示に満ちたページを読み尽くしたとはいえないであらう。諸君は年に一回再読することに決めたベーデン・パウエルの実行ぶりを採用すべきである。彼は本書の再読を始める最もよい日を、聖ジョージ祭の日だと示唆した。もし諸君が、そうするならば、そのたびごとに、このスカウティングという偉大なゲームの実施に役立つところの、新しいインスピレーションを味わうことができるであらう」

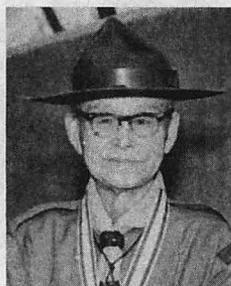
また、日本連盟訳の旧版(一九五二年版の訳本)の冒頭に日本連盟第四代総長三島通陽氏は「日本語版の刊行にあたって」の中で、次のように書いている。

「本を読むことと文字を読むことはもちろん違うのであるが、外国書を本当に読むということは特に難しい。さらにいうならば、本書の著者、

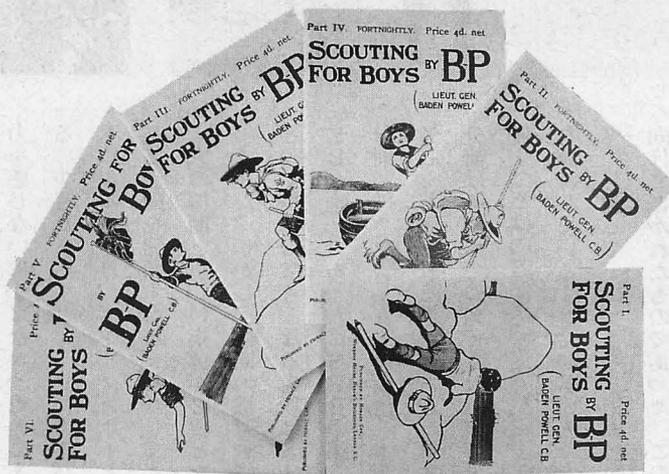
ROBERT BADEN - POWELL



第4代総長 三島通陽氏



中村 知氏



写真下

■スカウティング・フォア・ボーイズ

初版 1908年(50歳)
邦訳本の原本 1952年版
邦訳本初版発行年 昭和32年9月

ベーデン・パウエル卿は、非常に暗示法に巧みな人である。それゆえ、読者はあたかもクイズを解くような方法で読まないと、著者の真意はつかめないだろう。ちょうど、スカウトたちが設定された色々のサインを発見し、追跡して、観察推理してゆくというスカウティングそのものと同じやり方である。そういう書き方、示し方こそ、ベーデン・パウエル独特のやり方であり教育法なのである。暗示を方々に設定しておくだけであは読者の自発活動によって自力で解明し、そして自分の道を自分で拓いてゆくやり方。そういう読み方をさせるようにこの本はできている。表現の仕方に多くの余韻がかくされているのを見逃さないことが肝要である。よって今読んで、すぐ間に合うような早わかり的な解説書を望む人には向かないであろう。しかし何十回でも、読むならば読むたびごとに読者は新しい発見を無尽蔵にこの本から得られるに違いない。本書は、そういう本であることを付記しておきたい」

さらに、同書の巻末の「訳者としての謝辞」の中で、中村知氏(「ちやん」の愛称で親しまれる。BS関連翻訳・執筆多数。元日本連盟職員)は、次のようにいつている。

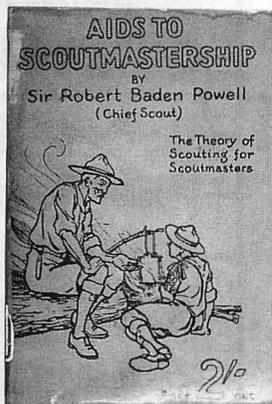
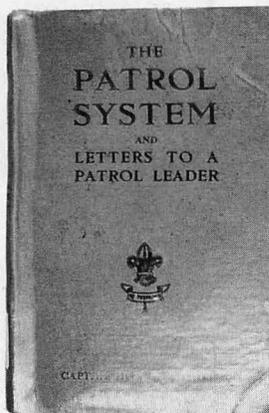
「私は「スカウティング・フォア・ボーイズ」を読まずしてスカウティングを語るなかれ」と申したい。その訳は、本書は世界各国のスカウティングの公分母だからであります。すなわち、この共通の公分母の上に、夫々の国のスカウティングが成立いたします。よって、この公分母を無視したり、公分母から逸脱した独善的なスカウティングは、絶対にあり得ない、と確信するからであります。この公分母の解明に、拙訳が何程かのお役に立つならば望外の幸せと存じますが、もしお礼をいってくださるならば、それは私宛ではなく、著者のB-P卿へ、そして、ご本尊たる少年たちにあてて、捧げていただきたいと存じます」

また、記念版の序文に渡邊昭総長は次のように書いている。

「本書を現在そのままの形で少年に実施させることには色々な疑問があります。しかし、本書を熟読して運動の基本を学び、著者がどんな道徳や技

ベストセラーになった 「スカウティング・フォア・ボーイズ」

■パトロール・システム・アンド・
レター・ツウ・パトロール・リーダー
ローランド・フィリップス著
初版 1915年
邦訳本の原本 1922年版
邦訳本初版発行年 昭和34年5月



■エイズ・ツウ・スカウトマスターシップ
初版 1920年 (63歳)
邦訳本の原本 1944年版
邦訳本初版発行年 昭和32年4月

■ローバーリング・ツウ・サクセス
初版 1922年 (65歳)
邦訳本の原本 1963年版
邦訳本初版発行年 昭和42年8月



■ウルフ・カブス・ハンドブック
初版 1916年 (59歳)
邦訳本の原本 1957年版
邦訳本初版発行年 昭和35年8月

能を体得させるためにそれぞれの物語やゲームを選んだかを探れば、多くの貴重な示唆を得ることが出来ます」

さらに、同書のあとがきに、

「本書はもともと少年に読ませるために書かれたものである。しかし、数十年を経た今日、時代おくれになった部分があるのは当然であるから、そのまま現代の少年に読ませるのは適当でない」とも書いている。

「スカウティング・フォア・ボーイズ」の読み方として整理してみると、次のようになる。

- ① 何回でも読むと、新しい発見がある
- ② クイズを解くように読む
- ③ スカウティングの公父母として読む
- ④ BIPの意図を理解するように読む
- ⑤ 書かれた時代背景を理解して読む

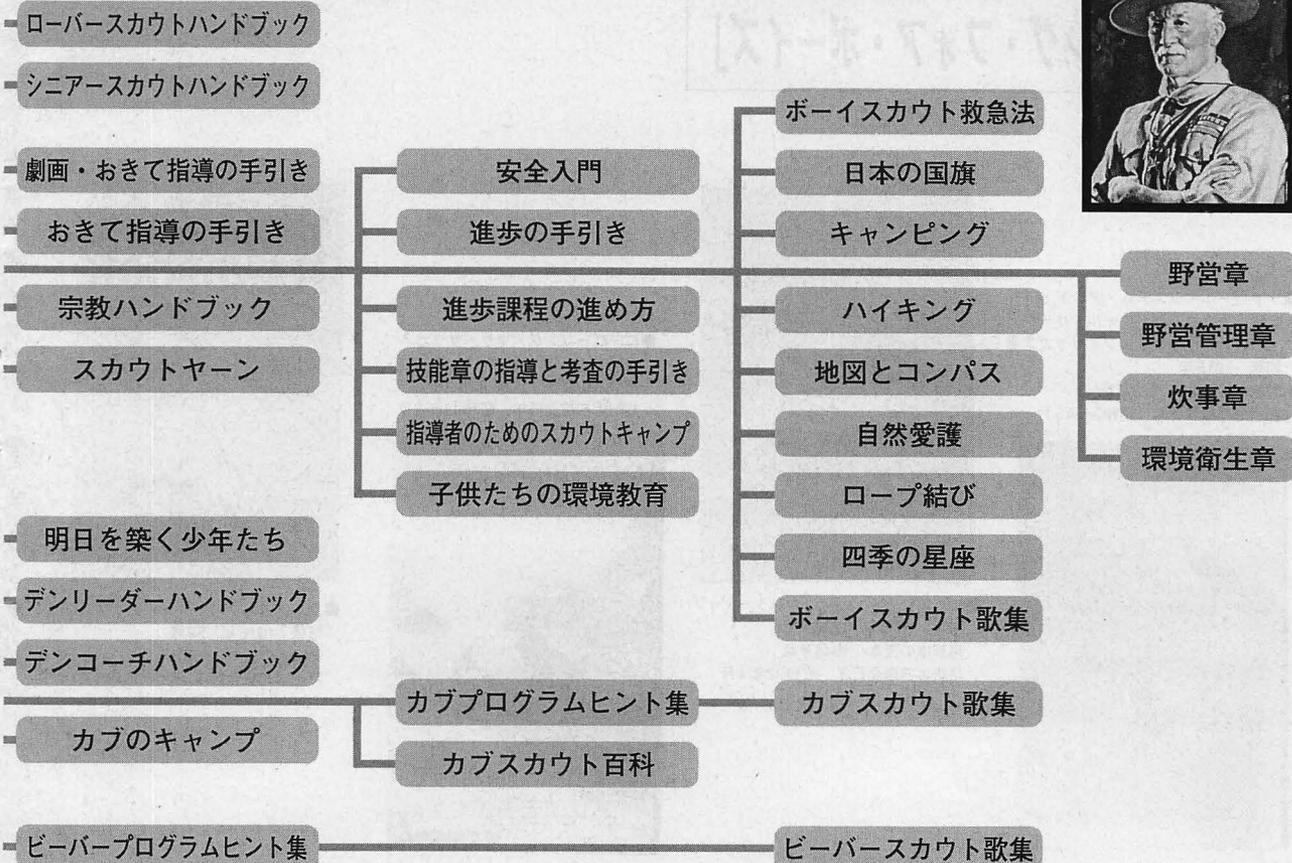
SFBの読み方のヒント

① 何回でも読むと、新しい発見がある

人間の記憶は、時間の経過とともに段々と薄れていくものである。一度読んで判ったつもりでも、時間が経つと忘れてしまうのが普通である。そこで、SFBをいつも手元に置いておき、プログラムに関する内容で参考になる箇所を拾い読みし、下線を引いたり、自分なりの書き込みをしておく。そして、集会でスカウトに話して聞かせる題材や、ゲームや活動プログラムのヒントを得たいときには、SFBを紐解くことを習慣にするとよい。そのたびに新しい発見がある。BIPは自分の書いたSFBを毎年一回読むことを実行したので、私たちもBIP同様に、彼の誕生日の二月二日にSFBを読み始めてみるのはいかがか。

② クイズを解くように読む

記念版では、各章の終わりの部分に「○○○○の班練習」や「○○○のゲーム」が書かれているが、この部分は、BIPが指導者のために書いた「実施上の示唆」(旧訳版)である。「○○○○の班練習」に書かれていることは、本文に書かれていることをプログラムにするためのヒントであると思つてよい。したがって、この部分を参考に活動プログラムを組めば、かなり楽しい実践プログラムができたがるはずである。ただし、BIPは暗示的に書いているので、読者の方でクイズを解くように読み、創



意工夫を活かしてプログラム化する必要がある。

③スカウティングの公分母として読む
現在の日本のスカウティングの組織や方法は、B-Pの提唱した班制教育や進歩制度を基盤として成り立っている。B-Pの提唱した基盤を世界のスカウティングの公分母とすれば、現在の日本のスカウティングの組織や方法は分子である。SFBに書かれていることは、世界のスカウティングの公分母としての価値があり、そのため、一九〇八年以来、幾度の改訂がなされてきたSFBは一九六三年の決定版以後、一切の改訂をしないことが決定された。SFBに書かれている組織や方法は、イギリス連盟の現行のものではなく、また、現在の日本のスカウティングの組織や方法と異なることを認識しつつ、その共通する考え方を捉えて日本のスカウティングの組織や方法に当てはめて読み取る工夫が必要である。

④B-Pの意図を理解するように読む
イギリス連盟総長のロウオーランは、「エイズ・ツウ・スカウトマスターシップ」(邦名「隊長の手引き」)Ⅱ

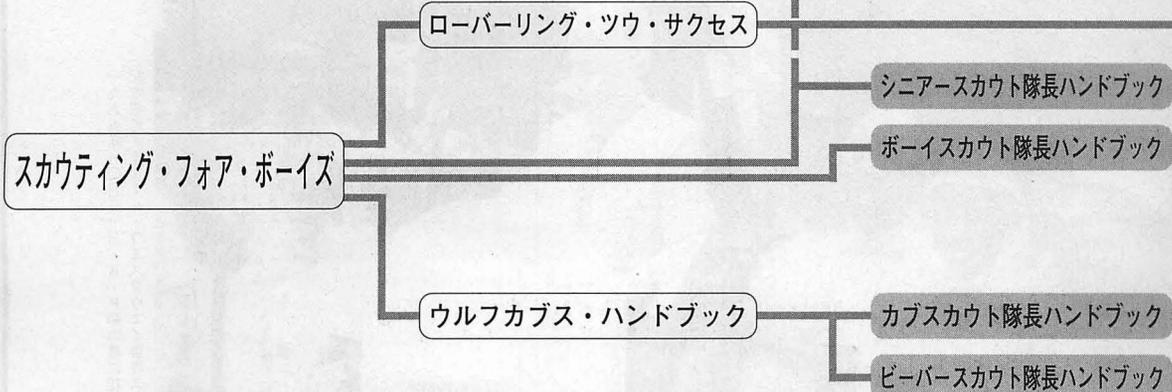
絶版)の序文に次のように書いている。「我々はあまりにも文献や指導書を持ちすぎている。私はよくこう思う! この本とスカウティング・フォア・ボーイズの中に我々の必要なものは何でもある。その他のことはB-Pの言葉でいえば、「隊長の常識に任せれば」よろしい」

SFBの中には、スカウティングの基本的な考え方が述べられているから、B-Pの真の意図を汲み取り理解するように読むことが大切である。B-P夫人、オラフ・ベデーパウエルは、一九六三年の決定版の「まえがき」(記念版に収録)に次のように書いている。

「創始者が書き残した言葉のひとつひとつに真理がこもっています。真理はひとつの世代やひとつの国に限られたものではありません。創始者の偉大な才能が作り上げ、私たちに残したみちしるべをどのように活用し、大切にし、維持し、後世に伝えるべきかを示す手引書がスカウティング・フォア・ボーイズです」

⑤書かれた時代背景を理解して読む
SFBの書かれた時代、すなわち、

ベストセラーになった 「スカウティング・フォア・ボーイズ」

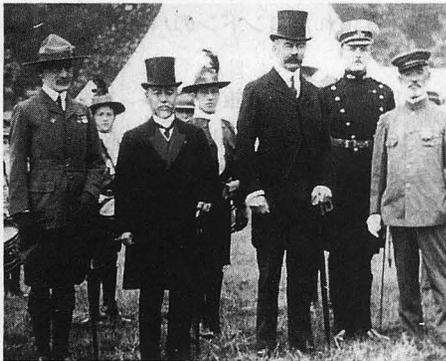


B-Pについて

絵本ベーデン・パウエル
 絵で見るベーデン・パウエルの生涯
 ボーイスカウトを作った人 ベーデン・パウエル
 ベーデン・パウエル 英雄の二つの生涯 (産調出版刊)

スカウト運動について

昭和天皇とボーイスカウト運動
 2億5千万人のスカウト
 スカウト運動
 世界のボーイスカウト運動



▶英国王ジョージ五世の戴冠式のため渡英した、東郷大将（左から二人目）、乃木大将（右端）たちと。左端がB-I-P卿（一九一一年六月、ロンドン）

B-I-Pは、彼の八四年の生涯に三四冊の単行本と二二冊の小文・パンフレットを著した。また、『スカウター』

B-I-Pの著書を読む

今世紀初頭のイギリスの経済、社会状況、国情と国際関係、教育および学校システムなどについてや、B-I-Pの歩んできた前半生についての知識をもつて読むと、よく理解できる部分が多い。そこで、記念版のために、渡邊総長が特別に『スカウティング・フォア・ボーイズ成立の背景』を執筆されているので、熟読されることを勧める。

誌、その他の雑誌や新聞に発表したものから編集された寄稿文集が三冊発行されている。（『スカウティング』誌一九九二年三月号参照）

一九五七年は、B-I-Pの生誕一〇〇年にあたり、かつボーイスカウト運動の創始五〇年という記念すべき年であり、日本連盟はその記念事業のひとつとして数種のB-I-Pの原書の翻訳本を刊行することを決定した。そして日本語に翻訳刊行されたのは、『スカウティング・フォア・ボーイズ』、『ウルフ・カブス・ハンドブック』、『ローバーリング・ツウ・サクセス』、『エイズ・ツウ・スカウトマスターシップ』（邦名「隊長の手引き」絶版）、『パトロール・システム・アンド・リーダー・ツウ・パトロール・リーダー』（ローランド・フィリップス著、邦名「パトロール・システム（班制教育）および 班長への手紙」絶版）の五冊である。『スカウティング・フォア・ボーイズ』を読まれた指導者の方は、ぜひ他のB-I-Pの著書を紐解いて、B-I-Pの意図したことを汲み取っていただきたい。

こぐれ・みきお 日本連盟広報委員